

第 1 章

施策No.

1-4

工業の振興と新産業の開発

▼政策目標

1 活力あふれる産業が展開するうわじま

▼施策

1-1 農林業の振興

1-2 水産業の振興

1-3 商業の振興

1-4 工業の振興と新産業の開発

1-5 観光の振興

1-6 雇用対策と勤労者福祉の充実

▼施策の内容

1-4-1 既存企業の活性化

P89

▼主要事業

宇和島市推奨品認定制度

宇和島地域ブランド化事業

1-4-2 新たな産業の開発

P89

宇和島地域ブランド化事業

1-4-3 企業誘致の推進

P89

企業誘致（留置）及び工場誘致

立地企業に対する奨励金制度



4 工業の振興と新産業の開発

施策の方針

地域活力の向上と雇用の場の確保を見据え、既存企業の活性化や新産業の開発を促進していくとともに、優良企業の誘致に努めます。

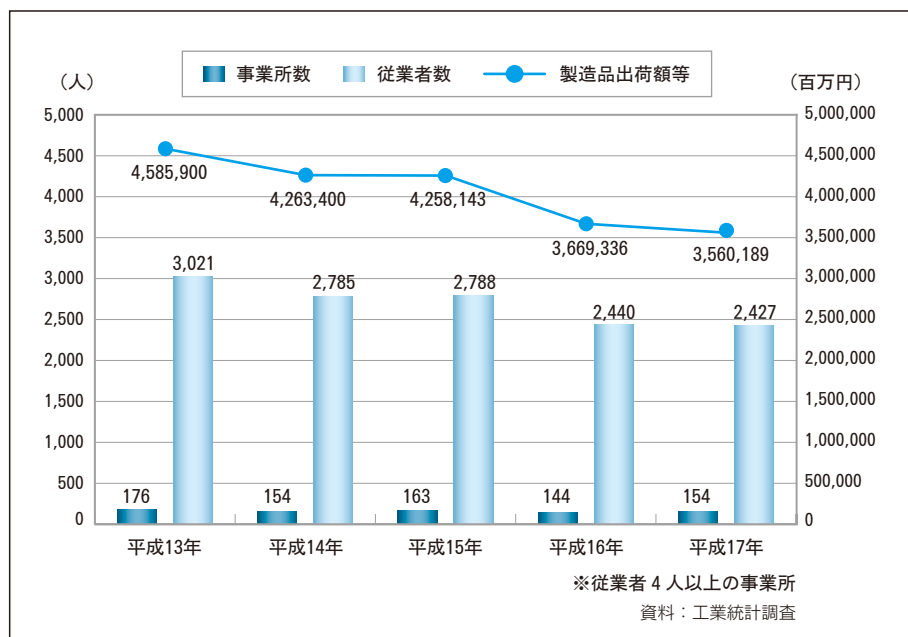
現状と課題

工業の振興は、地域経済の活性化はもとより、雇用の創出に直結するものとして、まちづくりの上で大きな位置を占めていますが、景気回復の遅れや経済のグローバル化、消費者ニーズの変化などにより、地方の工業は依然として厳しい状況が続いています。

本市の工業は、縫製や食品加工、真珠加工、木材製品製造などの伝統的な地場産業と、自動車部品製造などの誘致企業によって構成されており、これまで本市経済の発展と雇用の場の確保に貢献してきましたが、取り巻く環境が依然として厳しい中で、事業所の撤退や縮小が進み、事業所数や従業者数、製造品出荷額いずれも減少傾向にあります。

このため、今後は、商工会議所等各関係組織・団体との連携はもとより、産・学・官等各分野の連携を強化して一体的な支援に努め、地場産業の高度化や新産業の開発、起業化を促進していくとともに、積極的な誘致活動を展開し、優良企業の立地を促進していく必要があります。

●事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移●



● 施策の内容

1-4-1 既存企業の活性化

最重点
プログラム①

本市の食産業の中核を担う食品加工業と真珠加工業をはじめとする既存企業について、商工会議所等関係機関・団体との連携のもと、経営革新や後継者の育成、技術の向上、製品の高付加価値化を支援し、活性化を促進します。

宇和島市推奨品認定制度

主要事業

宇和島地域ブランド化事業

1-4-2 新たな産業の開発

最重点
プログラム③

商工会議所等関係機関・団体との連携のもと、産・学・官及び産業間連携の促進やセミナー・研修会の開催、アドバイザーの派遣をはじめ、産業開発や起業を支援する施策を積極的に推進し、豊富な地域資源を生かした新たな産業の開発や起業化を促進するとともに、商店街におけるコミュニティビジネスの育成に努めます。

主要事業

宇和島地域ブランド化事業

1-4-3 企業誘致の推進

最重点
プログラム③

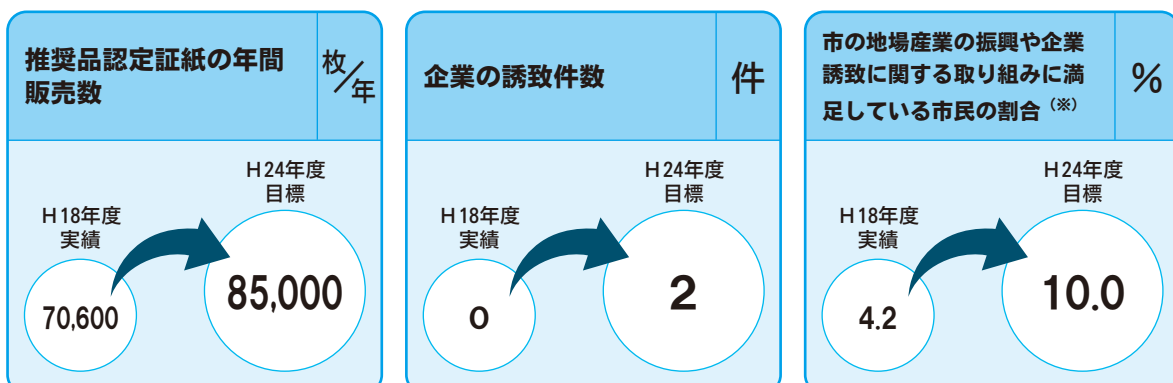
四国横断自動車道の整備による交通立地条件の向上等を生かし、工業用地の確保・整備のもと、関係機関と連携しながら、情勢の変化に即した企業誘致活動を積極的に展開し、優良企業の立地を促進します。

主要事業

企業誘致（留置）及び工場誘致

立地企業に対する奨励金制度

● 成果指標



注）（※）の市民の割合（実績）は、平成18年6月に行った住民アンケート調査の結果による。

こ だから
子宝をねが つ しま
願う津島のに じゅうがき
二重柿

二 重 柿



津島町岩淵、光雲山満願寺の境内に、根回り2.8m、幹周り1.2m、樹高約10mの渋柿の木があります。柿の実の内部にまた果実を生じるので、「二重柿」とか、「子持ち柿」の名があり、昔から子宝に恵まれると信じて、全国から干柿の申込みが絶えません。この柿の縁起は、種々伝えられていますが、弘法大師あんぎゃ行脚の際、立てておかれた杖から芽が出て、この柿の木になったという伝説もあります。県の天然記念物に指定されています。

さん まん ごく
三万石のよし だ なつ
吉田懐かしさくらばし
桜橋

桜 橋



桜橋は、吉田町の中心部にあり、江戸時代に吉田藩によって立間川（横堀）に架けられました。当時は、桜橋を境に家中町と町人町に分けられており、橋から北側が家中町で、中央に家老などの屋敷、周辺には下級武士の住宅がありました。南側の町人町は、本町、裡町、魚棚町の3町から成り、問屋、旅館、鍛冶屋、魚屋など様々な職種が軒を連ねていました。江戸時代から吉田の歴史とともに歩んできた橋で、現在も夏祭りなどでは多くの人で賑わいます。